

# Mizuho Daily Market Report

2023/4/17

## 為替

通貨	アジア終値	NY終値	前日比	前週比*
JPY	132.23	133.79	+1.21	+1.63
EUR	1.1067	1.0992	▲0.0054	+0.0087
AUD	0.6778	0.6707	▲0.0075	+0.0035
SGD	1.3248	1.3301	+0.0080	+0.0003
CNY	6.8430	6.8691	+0.0015	+0.0012
MYR	4.3974	4.4012	+0.0002	▲0.0003
THB	34.04	34.25	+0.00	+0.18
IDR	14704	14700	▲51	▲213
PHP	55.21	55.21	▲0.06	+0.80
INR	81.86	81.86	+0.00	▲0.04

## 金利

国債利回り	終値	前日比	前週比*
米国(10年)	3.513%	+6.8 bp	+12.2 bp
日本(10年)	0.475%	+0.4 bp	+0.5 bp
ユーロ圏(10年)	2.440%	+6.8 bp	+25.7 bp
オーストラリア(5年)	3.044%	+2.0 bp	+13.5 bp
シンガポール(5年)	2.801%	+2.6 bp	▲2.0 bp
中国(5年)	2.670%	+1.1 bp	▲1.4 bp
マレーシア(5年)	3.486%	▲0.8 bp	▲1.9 bp
タイ(5年)	2.083%	+0.0 bp	+0.2 bp
インドネシア(5年)	6.364%	+1.4 bp	+2.2 bp
フィリピン(5年)	5.912%	+0.4 bp	+15.0 bp
インド(5年)	7.059%	+0.0 bp	+5.1 bp

## 株

株価指数	終値	前日比	前週比*
DOW(米国)	33,886.47	▲0.4%	+1.2%
N225(日本)	28,493.47	+1.2%	+3.5%
STOXX50(ユーロ圏)	4,390.75	+0.6%	+1.9%
ASX(オーストラリア)	4,278.54	+0.4%	+1.8%
FTSTI(シンガポール)	3,302.66	+0.2%	+0.1%
SSEC(中国)	3,338.15	+0.6%	+0.3%
KLSE(マレーシア)	1,435.13	+0.1%	+0.6%
SETI(タイ)	1,592.67	+0.0%	+1.0%
JKSE(インドネシア)	6,818.574	+0.5%	+0.4%
PSE(フィリピン)	6,481.91	+0.5%	▲0.1%
SENSEX(インド)	60,431.00	+0.0%	+1.0%

## 商品

商品スポット・先物	終値	前日比	前週比*
CRB	276.22	+0.2%	+1.6%
金	2,004.17	▲1.8%	▲0.2%
原油(WTI)	82.52	+0.4%	+2.3%
銅	9,030.25	▲0.4%	+2.5%

\*1週間前の終値と比較

## 【本日の予想レンジ】

USD/JPY	132.50	—	134.50
EUR/USD	1.0920	—	1.1080
AUD/USD	0.6600	—	0.6830
USD/SGD	1.3240	—	1.3350
USD/CNY	6.8600	—	6.8950
USD/MYR	4.3750	—	4.4150
USD/THB	34.10	—	34.45
USD/IDR	14650	—	14900
USD/PHP	55.00	—	55.50
USD/INR	81.75	—	82.30

## 【本日の相場方向感】

USD/JPY	Bull (7)	>	Bear (1)
USD/SGD	Bull (8)	>	Bear (0)

Contact:  
Mizuho Bank, Ltd., Asia & Oceania Treasury Department  
Tel: 65-6805-4100

## 【為替】

アジア時間のドル円は132円台半ばでオープン。実質五・十日であるため実需の買いもあってか、仲値前には一時132後半まで上昇したものの勢いは続かず。その後は前日の米3月PPIの結果を受けた流れからドル売りが優勢。植田総裁のコメントなどもあり132円台前半まで下落する場面もあったが、決定打に欠ける中、結局オープンと同水準の132円台半ばで海外時間に渡った。アジア通貨は前日の米3月PPIの結果を受けたドル売りの流れから概ね堅調推移。ただし、シンガポールドルについてはMAS会合において2021年4月会合以来となる金融政策の据え置きが発表されたことを受け対ドルで下落する展開となった。

海外市場のドル円はNY時間早朝に各米大手銀行が本年度の第1四半期決算を発表し、利益が予想を上回った事が好感され、ドル買いが優勢となり132円台半ばでNYオープン。米3月小売り売上高(前月比)が予想を下回り、発表直後は132円台前半まで売られるも、コアの小売り売上高が予想ほど悪化しておらず、さらに米3月鉱工業生産(前月比)も予想を上回り、インフレ減速の手掛かりが見当たらなかったためか、すぐにドル買いに転じる。その後、ウォラ-FRB理事が「金融政策は一段の引き締めが必要」と述べたことや、4月シンガポール大学消費者マインド指数や1年期待インフレ率が予想を上回った事がドル買いに拍車をかけ、133円台後半まで急伸。その後も底堅い推移が継続し133円台後半でクロスした。

## 【金利】

米債利回りは上昇。NY朝方に米銀大手決算発表があり預金増などが確認されたことから、警戒感が和らぎリスクオン地合いとなっていた中で発表された米小売売上高は自動車・ガソリン・建材を除いたコントロールグループと呼ばれる数値で市場予想ほどの減速がみられず手前の金利を中心に上昇圧力が加わった。FRBウォラ-FRB理事による「金融政策は一段の引き締めが必要」との趣旨の発言も債券売り材料。

## 【予想】

本日のドル円相場は底堅い推移を予想。先週金曜日はインフレ期待の上昇を示唆する米経済指標の結果に加え、ウォラ-FRB理事による舐雑発言もあり米金利上昇、ドル買いの流れとなった。米利上げ継続観測が意識される中、ドル円は底堅い推移となると予想する。

## 【本日の予定】

(アジア) 3月 インド 卸売物価  
(アジア) 3月 インドネシア 貿易収支  
(アジア) 3月 シンガポール 電子機器輸出 / 非石油地場輸出  
(アジア) 中国 MLE(1Y)  
(欧州) 独 国債入札(6M、12M)  
(米国) 2月 ネットICFrow合計  
(米国) 4月 NAHB住宅市場指数  
(米国) 4月 ニューヨーク連銀製造業景気指数

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。転送もお控えください。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。